

玄海だより

提供:切木百笑会



切木のコスモス園(肥前町)

現在では当時にはなかつたキャンプ場「ふれあい自然塾ひぜん」が開設され、ふつうのキャンプだけでなくオートキャンプも楽しむことができ、虫等が苦手な方にはレンタルコテージもあります。しかも、目の前がすぐ海という最高のロケーションは、暖かい時期なら飛び込んで泳ぎたくなること確実です。また、シーカヤック体験やSUPのレンタルもあり、まさにキャンプをしながら海を楽しむのに最適な場所となっています。

農業、漁業、商工業、どの分野でも高齢化が進み、過疎化が進んでいます。容易ではないかもしませんが、生まれ育ったこの地域を守っていく若者が少しでも残ってくれたらと願っています。

あまりの絶景に弘法大師も筆を投げたと伝わるいろは島、碧く波穏やかな水面に点在する大小の島々を眺めると、心穏やかな気持ちになります。弘法大師もこの景色を背に、高串港から大陸へ向けて船を漕ぎだしたことを考えば遠く昔の歴史の背景も想像に難くないでしょう。

小学生の頃自転車で、当時のいろは島国民宿舎やいろは島展望台にサイクリングしたことを思い出します。いろは島展望台からの景色は素晴らしいものです。今は島の名前の由来にもなった大小48の島々や、隣に目を移すと日本の棚田百選にも選ばれている大浦の棚田の景色が広がります。

国定公園いろは島
唐津上場商工会 副会長
美間坂智



玄海原子力発電所
Vol.251
2025年9月

九州電力からのお知らせ

【お知らせ】玄海原子力発電所における非常用サイレンの吹鳴について

佐賀県原子力防災訓練における玄海原子力発電所の訓練において、原子力災害の発生を発電所構内の作業者に知らせる非常用サイレンの吹鳴を予定しています。

サイレンの音が発電所敷地外まで響く可能性がありますが、発電所の異常によるものではありませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

日 時 2025年10月5日(日) 1回目:8時20分頃
2回目:8時50分頃

玄海エネルギーパーク



「秋のKidsイベント」開催のお知らせ

玄海エネルギーパークでは、「秋のKidsイベント」を開催いたします。bingoゲーム大会や工作教室、縁日、キッチンカーなどを準備しています。

皆さまのご来館を心よりお待ちしています。

2025年10月19日(日)

時 間 9時~16時

場 所 玄海エネルギーパーク
(佐賀県東松浦郡玄海町)

詳しくは
玄海エネルギーパーク
公式サイトへ



主なイベント

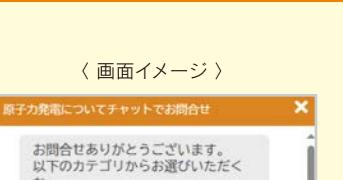
- ・bingoゲーム大会
- ・グリセリン手作りソープ
- ・eスポーツ体験
- ・キッチンカー出店
- ・クイズラリー
- ・縁日(射的)



●bingoゲーム大会
※開始時間10時30分~、
13時~、15時~ 計3回



●工作教室
「グリセリン
手作りソープ」



原子力発電に関する疑問に チャットでお答えします

ぜひご活用
ください

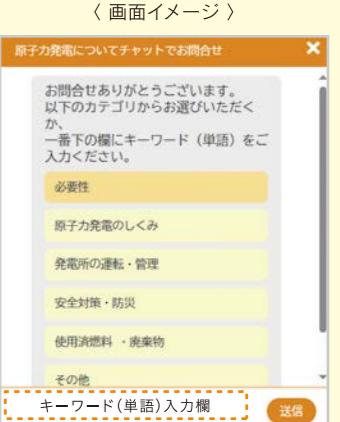


当社ホームページ上に原子力発電に関する
お問合せ用チャットを設置しています。
これまでに寄せられたご質問などをもとに
一般的なご質問に回答します。

「原子力情報」など原子力関連の主なページに設置しています↑



入口はこち



仲間も増えて、学びも深く。

肥前小学校、統合から2年目の秋。

ここ十数年、全国の小中学校で統廃合の動きが続いている。少子化や産業形態の変化による人口減少などが背景にありますが、子どもたちは統合した新たな環境にも順応し、元気に学習を続けています。



(右)令和6年に行われた肥前小学校開校式の様子。(左上)お話を伺った肥前小学校の渡邊校長先生。(左下)校長先生が着用されているボロシャツは、「ひぜん」の文字と子どもたちの笑顔がデザインされているオリジナル仕様。

**少子化で避けられない統廃合
それでも大人たちが込める願い**

肥前町には昨年春まで、入野小学校(向島分校含む)、納所小学校、田野小学校、切木小学校の4校がありました。昨年4月に、前3つの小学校が統合して「肥前小学校」がスタートし、今年4月には残った切木小学校が大良小学校、竹木場小学校と統合となりました。

かつて炭鉱が栄え、農業や漁業、海運業なども盛んだった肥前町。最盛期には人野小学校だけで1000名近い児童が通っていたそうです(昭和28年頃)。しかし最近では入野小、納所小、田野小いずれも児童数60名弱となり、今回の統合となつたものです。

子どもたちにとって、生活の根幹である学校環境が大きく変化することは重要な意味を持ちます。精神的なストレスも心配されるもの。そこで、先生方や地元でも、事前に綿密な準備や周到な配慮がされました。

かつて炭鉱が栄え、農業や漁業、海運業なども盛んだった肥前町。最盛期には人野小学校だけで1000名近い児童が通っていたそうです(昭和28年頃)。しかし最近では入野小、納所小、田野小いずれも児童数60名弱となり、今回の統合となつたものです。

子どもたちからは「早く一緒に勉強したり遊んだりしたい」と声が上がったそうです。

いよいよ昨年の4月。旧入野小学校改め、「肥前小学校」となった校舎で、147名の学びが始まりました。

クラスの児童数も、30人前後になるところも。今までの少人数とはまた違う配慮が必要です。ペテランの先生が若手の担任をリードしながら、全員の理解が進むように授業にも工夫が込められました。

児童たちを見守ってきた校長の渡邊先生も、予想以上の順応ぶりに安堵したそ

の結果、子どもたちは「早く一緒に勉強したり遊んだりしたい」と声が上がったそうです。

いよいよ昨年の4月。旧入野小学校改め、「肥前小学校」となった校舎で、147名の学びが始まりました。

クラスの児童数も、30人前後になるところも。今までの少人数とはまた違う配慮が必要です。ペテランの先生が若手の担任をリードしながら、全員の理解が進むように授業にも工夫が込められました。

児童たちを見守ってきた校長の渡邊先生も、予想以上の順応ぶりに安堵したそ

の結果、子どもたちは「早く一緒に勉強したり遊んだりしたい」と声が上がったそうです。

いよいよ昨年の4月。旧入野小学校改め、「肥前小学校」となった校舎で、147名の学びが始まりました。

クラスの児童数も、30人前後になるところも。今までの少人数とはまた違う配慮が必要です。ペテランの先生が若手の担任をリードしながら、全員の理解が進むように授業にも工夫が込められました。

児童たちを見守ってきた校長の渡邊先生も、予想以上の順応ぶりに安堵したそ

の結果、子どもたちは「早く一緒に勉強したり遊んだりしたい」と声が上がったそうです。

いよいよ昨年の4月。旧入野小学校改め、「肥前小学校」となった校舎で、147名の学びが始まりました。

クラスの児童数も、30人前後になると

ころも。今までの少人数とはまた違う配慮が必要です。ペテランの先生が若手の担任をリードしながら、全員の理解が進むように授業にも工夫が込められました。

児童たちを見守ってきた校長の渡邊先

生も、予想以上の順応ぶりに安堵したそ

の結果、子どもたちは「早く一緒に勉強したり遊んだりしたい」と声が上

がったそうです。

いよいよ昨年の4月。旧入野小学校改め、「肥前小学校」となった校舎で、147名の学びが始まりました。

クラスの児童数も、30人前後になると

ころも。今までの少人数とはまた違う配慮が必要です。ペテランの先生が若手の担任をリードしながら、全員の理解が進むように授業にも工夫が込められました。

児童たちを見守ってきた校長の渡邊先

生も、予想以上の順応ぶりに安堵したそ

の結果、子どもたちは「早く一緒に勉強したり遊んだりしたい」と声が上

がったそうです。

いよいよ昨年の4月。旧入野小学校改め、「肥前小学校」となった校舎で、147名の学びが始まりました。

クラスの児童数も、30人前後と

ころも。今までの少人数とはまた違う配慮が必要です。ペテランの先生が若手の担任をリードしながら、全員の理解が進むように授業にも工夫が込められました。